

# 最新売れ行きBEST本

★印は初登場!!

2002.5.1~5.31

TTCネットワーク月間データ

(季季を除く小社全書籍の売れ数)

	書名	著者名	本体	記本日	前月順
↑	1 「おじさん」的思考	内田 樹	1900円	02.3.29	2
☆	2 ケアマネジャー基本問題集02 上	介護支援研究会	1600円	02.4.26	New
☆	3 ケアマネジャー基本問題集02 下	介護支援研究会	1600円	02.4.26	New
4	普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	1
↑	5 食卓の力 「くり返し」を楽しむ暮らし	山本ふみこ	1400円	02.4.25	42
☆	6 「爆心地」の芸術	榎本野衣	2800円	02.4.30	New
7	考える練習をしよう	バーンズ	1650円	85.3月	3
8	できればムカつかずに生きたい	田口ランディ	1400円	00.10.11	4
9	根をもつこと、翼をもつこと	田口ランディ	1400円	01.10.31	6
☆	10 大人になるって何?	鶴見俊輔と中学生たち	1400円	02.4.30	New
↑	11 東京本遊覧記	坂崎 重盛	2200円	02.3.15	16
12	馬鹿な男ほど愛おしい	田口ランディ	1400円	00.5.31	9
↑	13 ベストミステリー大全	北上次郎	2800円	02.4.25	34
14	マドンナの引っ越し	池内 紀	1600円	02.4.10	8
15	印刷に恋して	松田 哲夫	2600円	01.12.27	6
16	書物史のために	宮下史朗	2200円	02.3.29	13
17	世の途中から隠されていること	木下 直之	3800円	02.2.20	5
18	すぐそこの遠い場所	クラフト・エヴィング商會	1800円	98.12.18	17
19	大切にしたいものは何?	鶴見俊輔と中学生たち	1400円	01.12.27	15
20	がん患者学	柳原 和子	2600円	00.7.7	18

角田光代さんも  
大絶賛!! (朝日新聞)  
「中高生のためのブック・クイズ」  
「本と一緒にあるんだ」

食卓の力

「くり返し」を楽しむ暮らし

山本ふみこ 著

ISBN 4-7949-6532-X

本体1400円

4月25日配本

『食卓の力』地味なタイトルだけれど、ぜい学校にかぶる若い人に読んでほしい、すばらしい本だ。(中略) 何がゆたかさをのぞか、ということが圧倒的なさりげなさで、でもしっかり描かれている。

—— 作家・角田光代さん評 5/26(日)朝日新聞より

食卓の力 くり返しを楽しむ暮らし



生活の基本は「おいしく食べる」にあり!

急上昇! 今月ベスト5位だ!

朝日新聞 6/2(日)書評で絶賛!

姜信子  
文私安  
化た住  
流東ち  
浪アの  
シない



4月23日配本

安住しない  
私たちの文化

— 東アジア放浪 —

姜信子 著 本体2600円

写真・アン・ピクトレ

ISBN 4-7949-6528-1

日本の歌謡曲のメロディが「戦前のアジア」で、大ヒットしたように大衆文化も民族や国の枠を超えて人々と共に旅をした。安住しない、その大衆文化を追って見えてきた、流浪の風景。

「あらためて自分を振り返ってみるために、ぜひとも読んでほしい一冊だ。」

6/2(日) 朝日新聞・川村邦光氏評

ビジネス書のご担当者様へオススメ!!



仕事ができる人は知っている

— 古典に学ぶビジネスの知恵 —

5月30日配本 小林薫 著 本体1700円

ISBN 4-7949-6531-1

ドラッカーや、S・ジョーンズの翻訳、紹介で知られるビジネス書、東洋本でも定評ある小林薫氏がすすめるビジネスマン必読の実践的古典ガイドブック!

前向きな定年後を考える

定年  
幸福  
後な

足立紀尚

定年後をどう生きる?

読者は元気なまま大成功を収める

5月31日配本

本体2600円

4-7949-6534-6

こちらどうぞよく

大人のビジネス

マンのために!

元気になれる本

5月31日配本

本体2600円

4-7949-6534-6

こちらどうぞよく

晶文社 6~7月

上野創 『がんに向き合って』

フランス・アリス 『被害の女性に關しては』

ジェラルド・カーシュ 『土曜日の手記』

森村泰昌 『女優泉M 演技の花道』

日建学院編 『マンション管理士基本テキスト』

『マンション管理士基本問題集』

坪内祐三 『後ろ向きで「前へ進む」』

千葉県立中央博物館 『恐竜時代の生き物たち』

高野洋 『色彩検定3級対応わかる! 一問一答』

早川義夫 『たましいの場所』

三井ひろみ 『動物たちが生きる勇気をくれた』(仮)

細川希久子 『パリで出会ったソマリエ紳士』(仮)

麵食いシマダの  
この店に行け!

★その店は、二人の女性がセリ盛りにしている。その一人をA子さんと呼ぼう。A子さんは、カウンターの奥で麺のゆで役を主に担当する。化粧がやや濃く、時々見えるくわえタバコが素直らしく頼みになっている。スレンダーかつコリテッシュな肢体は、前掛けと白のゴム長靴で「ラーメン屋」に置いておくのがもったいないほどである。麺のゆで具合を確かめるとき、めがねをかけるので年齢はだいたい想像つくが……。もう一人をB子さんと呼ぼう。B子さんは、A子さんとは対照的にふくよかで、かわい顔が絶えない。めがねはいつも鼻の中間で止まっている。カウンターの手前には、接客が中心である。そして若い。10回行くと

そのうち1回ぐらいはB子さんに若いバイト君がついている。あるいはB子さん自身がA子さんの娘(?)さんとして登場している。ずいぶんラーメン店を食べ歩いたが、女性二人だけで仕切っている専門店はここだけだと思ふ。さてラーメンだが、麺は極太。しかも1.5玉でボリューム満点。スープはトンコツしょうゆで、ニンニクと背脂がたっぷり入る。具は、ゆでたまごとキャベツに、ネギ、チャーシュー2枚。なにを隠そうあの「二郎系」なのだ。味はしたがって保証済みである。三田が蒲田の「ラーメン二郎」で修行した後、この地に店を持った。しかしそれもつかの間、旦那に先立たれてしまう。一時は店をたたもうかと思案のどん底にいた。がしかし、持ち前の気丈さで立ち直り現在に至る。

なんてストーリーを勝手に作ってラーメンを食べているのであります。(違っていたらごめんない) ラーメン500円、大盛700円。月曜日はピスとして、大盛ラーメンが100円引きプラス煮玉つき。ランチメニューとして、ラーメンに高菜ごまがついて600円。同じく豚ごまがついて700円。他に野菜塩ラーメンが600円。なお麺は細麺も選べる。極太麺は食欲を大いに満たし、細麺はスープがよくからんで、どんぶり全体のバランスが活きる。店名は「ラーメン吉野」、しずかカウンター12席のみ。場所は、京王、井の頭線、明大前駅の一つしかない改札を出るすぐ左、ガードをくぐりそこから2軒目の右側。おなじみ黄色地に朱文字の看板。これは書いてある今、無性に「吉野詣」したくなってしまう。【営業部・島田孝久】